

## 公園緑地功労賞

公園緑地功労賞は、我が国における公園緑地事業及び都市緑化事業の実務に多年従事して功労があり、かつ他の模範となる人に贈呈される賞で、平成4年に設けられています。

国、地方公共団体及び公益法人等の職員として公園緑地事業及び都市緑化事業の実務に20年以上携わり、年齢が65歳以上の者を選考の対象としています。

### 第24回公園緑地功労賞受賞者（敬称略・五十音順）

① <sup>あおき</sup>青木 <sup>てるまさ</sup>輝政（兵庫県 69歳）

昭和44年～昭和63年 明石公園技術吏員、公園街路課主査等

昭和63年～平成12年 公園緑地課長補佐兼公園計画係長等

平成12年～平成16年 公園緑地主幹兼国営公園係長

県土整備総務主幹

平成16年～平成19年 県土整備総務参事(園芸・公園協会技術部長)

#### 受賞理由

氏は、昭和44年に兵庫県に奉職し、新任早々、明石公園の整備を担当。その後、第1次都市公園等整備五箇年計画がスタートし、公園事業が本格化する中であって、その豊富な経験と技術を存分に発揮し、淡路島公園や赤穂海浜公園の計画、整備に尽力するなど、退職までの38年9箇月の永きにわたり、公園緑地行政の第一線で活躍した。氏は県立都市公園の発展を担った一人であり、その功績は多大である。

② <sup>いづか</sup>飯塚 <sup>かつみ</sup>克身（一般財団法人 公園財団 66歳）

|                 |   |
|-----------------|---|
| 昭和 51 年～昭和 63 年 | 武蔵管理センター業務課管理係主任<br>海の中道管理センター総務課企画係長等              |
| 昭和 63 年～平成 7 年  | 武蔵管理センター業務課課長補佐<br>木曾三川公園管理センター所長等                  |
| 平成 7 年～平成 10 年  | 本部企画業務部企画課課長<br>昭和管理センター企画課課長                       |
| 平成 10 年～平成 24 年 | 越後丘陵公園管理センター分室所長<br>本部業務部次長、武蔵管理センター長<br>同都市緑化植物園園長 |

受賞理由

飯塚氏は、昭和 51 年、公園緑地管理財団職員として入団し、退職するまでの約 36 年間、各地の国営公園（海の中道、昭和、越後等）の管理運営に携わり、チューリップやバラなど特徴的な大規模花修景の整備・管理、雪割草群生地の再現などに尽力し、集客の基礎を築いてきた。また、全国に先駆けた武蔵丘陵森林公園の「都市緑化植物園」の管理運営に携わるなど、全国の都市緑化植物園の管理運営に関し先導的な役割を果たしてきた功績は多大である。

③ <sup>こばやし</sup>小林 <sup>のりお</sup>範士（弘前市 66歳）

|                 |                       |
|-----------------|-----------------------|
| 昭和 48 年～昭和 63 年 | 観光課公園管理事務所、公園緑地課管理係主事 |
| 平成 4 年～平成 10 年  | 公園緑地課管理係係長、副主幹兼係長     |
| 平成 10 年～平成 12 年 | 公園緑地課管理係主幹兼係長         |

受賞理由

市職員として採用後、昭和 48 年から 23 年 6 ヶ月に渡り、当市の代表的都市公園であり国指定史跡でもある鷹揚公園の整備・管理業務に携わった。また、樹木医として、全国的にも注目され今日まで継承されている桜の保全管理に尽力され、管理技術の基礎を築いた功労者の 1 人であり、数々の老木の延命を成功させてきたその功績は多大である。

④ <sup>たなか</sup>田中 <sup>けいこ</sup>敬子 (別府市 68歳)

|                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 昭和 45 年～平成 4 年  | 建設部公園緑地課工務係技師等    |
| 平成 4 年～平成 14 年  | 公園緑地課工務係係長、同課長補佐等 |
| 平成 14 年～平成 20 年 | 公園緑地課課長           |
| 平成 20 年～平成 23 年 | 公園緑地課みどりの相談所園長    |

受賞理由

昭和 45 年の奉職以来、別府市初（建築、土木を含む）の女性技師として、基幹公園である総合公園（別府公園や南立石公園）、運動公園（実相寺中央公園）、特殊公園（鉄輪地獄地帯公園）の他、10ヶ所以上の児童・街区公園の整備を手掛け、今日の別府市の「豊かなまちづくり」に貢献してきた。職歴上でも枢要な職階で後輩の育成に努力し、地方自治体における女性技術者の草分け的存在の一人である。

⑤ <sup>ふじと</sup>藤渡 <sup>なおみ</sup>直美 (福岡市 66歳)

|                 |                                       |
|-----------------|---------------------------------------|
| 昭和 50 年～平成 2 年  | 公園管理課舞鶴公園管理事務所<br>都市整備局公園緑地部公園計画課等    |
| 平成 2 年～平成 8 年   | 都市整備局公園緑地部公園計画課主査<br>(自然動物園担当)        |
| 平成 8 年～平成 14 年  | 都市整備局公園緑地部緑化推進課<br>緑化推進係長等            |
| 平成 14 年～平成 19 年 | 都市整備局公園緑地部課長<br>(全国都市緑化フェア担当)、同公園建設課長 |
| 平成 19 年         | 都市整備局公園緑地部植物園長                        |

受賞理由

本市の公園建設の最盛期である昭和 50 年代前半に公園整備に従事し、公園緑地の充実に尽力した。昭和 55 年に開園した植物園にて、植物の収集・展示業務に従事し、開園初期の管理運営に大きく貢献した。平成 17 年に本市で開催した全国都市緑化フェアにおいて、担当課長として4年間に渡り開催準備に尽力し、市民緑化運動の推進に多大なる貢献を果たした。平成 19 年から退職までの8か月は、植物園長として植物園のPRや都市緑化の普及啓発、施設の充実に取り組まれた。

⑥ ほんだ たかゆき 本田 孝行（宮崎市 66歳）

|                 |                                    |
|-----------------|------------------------------------|
| 昭和 47 年～昭和 63 年 | 都市整備部都市計画公園課技師等                    |
| 昭和 63 年～平成 13 年 | 都市整備部都市計画公園課主幹兼係長<br>街路公園課課長補佐兼係長等 |
| 平成 13 年～平成 15 年 | 都市整備部緑の対策監                         |
| 平成 15 年～平成 22 年 | 都市整備部公園緑地課長<br>建設部道路維持課長、用地管理課長    |

受賞理由

氏は、長きに渡り公園行政に携わり、特に、現在宮崎市のまちづくりの大きな指標になっている「緑の基本計画」の策定や、建築物等の壁面緑化推進により宮崎市が平成13年10月に内閣総理大臣賞（緑の都市づくり部門）を受賞できたことは、氏の貢献によるところが大きい。また、市役所退職後も造園関係の業務に携わり、宮崎市の公園行政への助言等により、公園緑地事業の推進に尽力している。